



2022年6月24日

株式会社田窪工業所に対する 「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社田窪工業所(本社:愛媛県今治市、代表取締役 黒田 祐弘)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

融資実行日	2022年6月24日
融資金額	2億円
融資期間	5年
SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	西条工場の工業用水使用量の削減
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性および SPT の合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(詳細:別紙2)を取得しております。

2. 企業概要

会社名	株式会社田窪工業所
所在地	愛媛県今治市古国分2丁目3-17
代表者	黒田 祐弘
業種	金属製品製造業
事業内容等	収納庫・物置・ガレージ等のエクステリア用品やキッチンで使うインテリア用品など、幅広い商品を取り扱っています。 長年培ってきた高い技術力と柔軟な発想により、社会に貢献できる企業であり続けるよう邁進いたします。

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行 法人企画部
TEL (082)247-5151 (代表)

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の2商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施 ・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年1回のレポートイングが必要
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・ 年1回のレポートイングが必要

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと ・ 外部レビュー※、年1回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと ・ 年1回のレポートイングを実施
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	



セカンドオピニオン

株式会社田窪工業所
〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日:2022年6月24日

発行者:ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、広島銀行(以下、「貸付人」という)と株式会社田窪工業所(以下、「借入人」という)の間のサステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本ローン」)について、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. KPIの選定

本ローンにおいて選定されたKPIは以下の(1)から(4)の観点より適切なものが設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

(1)借入人の包括的な社会的責任戦略

借入人は、愛媛県今治市に本社を置く、一般家庭向けを中心とした物置や台所収納棚などの金属製品製造・販売会社である。1946年に、窓の鉄格子や金属パイプ製のタオル掛けを製造する町工場として創業し、より良い生活環境づくりを目指す企業として日々研鑽を重ねている。屋外や屋内の収納用品を中心に、日常生活に欠かせない住宅関連用品を製造し、新たな生活空間を顧客へ提供し続けている。

借入人は、創業より「社会に対する不易の奉仕」の精神を受け継いでおり、会社の使命として「皆様の毎日の生活に役立ち、より快適にすること。そして地球に徹底して優しいものづくりを行うこと。」を掲げている。

そのため、借入人は、大半の製品で行っている粉体塗装の工程において有機溶剤を含まない塗料を使用することで、環境や人体に有害とされる薬剤を限りなくゼロに近い状態に抑えることとし、環境に配慮した製品づくりを進めている。

また、借入人は、「便利で豊かな生活の創造」を経営理念に、企業のミッションを「永遠に存続し、社員が幸福になり、社会の発展と幸せに貢献する」としている。そして、経営理念をもとに「田窪工業所グループSDGs宣言」を掲げ、3つの目標と10個のテーマを設定した（下図参照）。

SDGs宣言内容

経営理念である「便利で豊かな生活の創造」をもとに
当社は、3つの目標と10個のテーマを掲げます



(会社作成資料より抜粋)

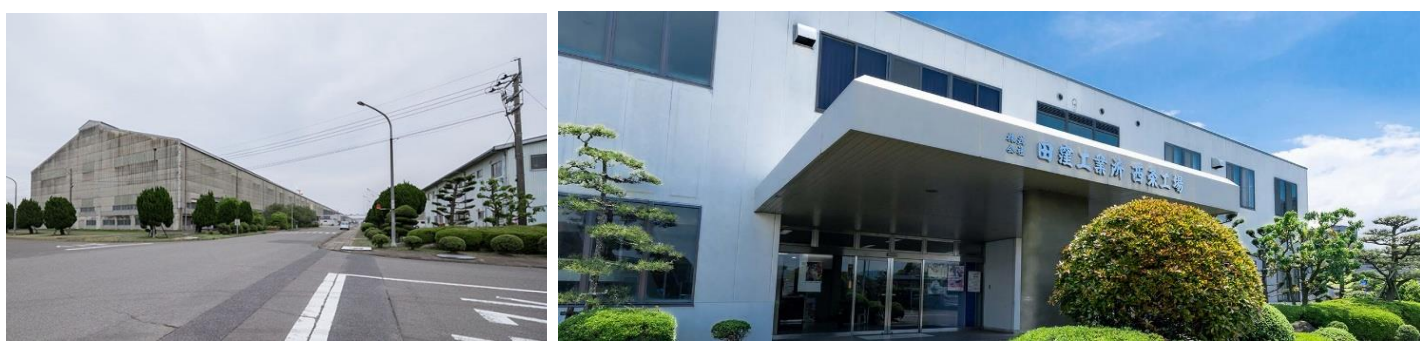
(2) KPIの概要

借入人はKPIとして、「西条工場の工業用水使用量」を選定した。

現状、本社工場の水の使用量は約200t/日で、スポット溶接時の冷却使用で約169.5t/日、塗装前処理ラインで約21.2t/日、他にもトイレなどの一般的な利用目的で約9.3t/日となっている。借入人の節水に対する取組が進んでいないこともあり、様々な対策により大幅な使用量の削減が期待される。

(3) サステナビリティ目標とKPIの関係

前述の「田窪工業所グループSDGs宣言」において設定されている3つの目標のうち「環境を豊かにする」では、「環境に配慮した商品づくり」、「包装材の削減」、「全社員が取り組むCO2排出量の削減」、「環境配慮型設備の推進」、「資源を大切にする」という5つのテーマが設定されている。本 KPIとして選定されている「西条工場の工業用水使用量」の削減は、「資源を大切にする」というテーマに該当している。



西条工場（会社HPより抜粋）

(4) KPIの有意義性

サステナビリティについては、2015年のSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の採択以降、国内外において官民での取組が活発となっている。特に水資源については、2050年には世界の総人口が97.3億人※¹に増大することなどにより、水への需要が2000年から2050年の間に、主に製造業の工業用水(+500%)、発電(+140%)、生活用水(+30%)の増加により全体で55%増加することが予想されており、深刻な水不足に悩まされる人の割合は、全人口の40%以上にも達すると見込まれている※²。

こうしたなか、わが国の工業用水の淡水補給量※³と生活用水※⁴とで示す都市用水使用量については、平成5年(1993年)以降は緩やかに減少してきたものの、近年はほぼ横ばいの傾向※⁵にあり、各事業所が工業用水使用量の削減に取り組むことは、持続可能な水資源の供給に資するものであると考えられる。

※¹ 国際連合「世界の人口推計(2015年改訂版)」

※² 経済協力開発機構「OECD Environmental Outlook to 2050(2012年)」

※³ 従業員30人以上の事業所を対象

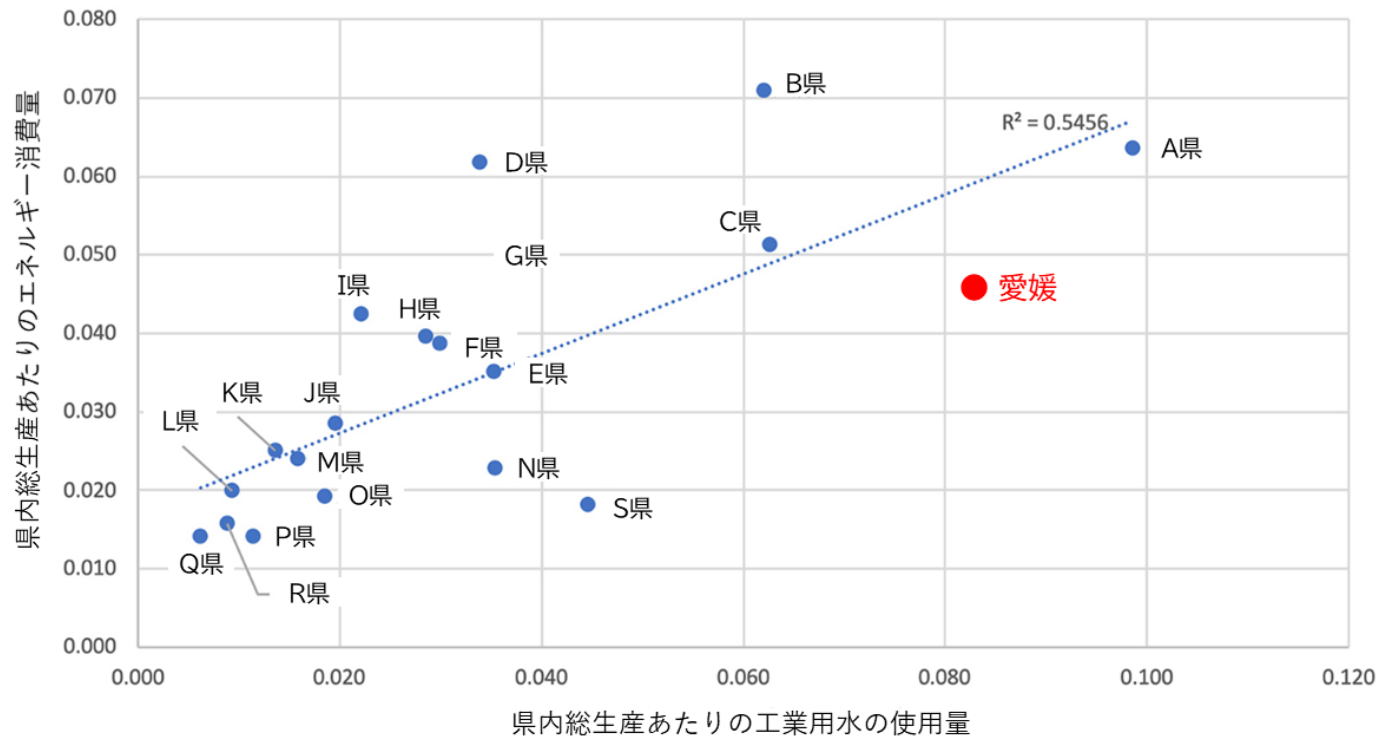
※⁴ 上水道事業と用水供給事業の取水量を対象

※⁵ 国土交通省水資源部調べ

また、総合地球環境学研究所の調べでは、工業分野における工業用水使用量^{※6}とエネルギー消費量^{※7}のそれぞれの利用効率は、シナジー関係があるとされており、借入人の西条工場が所在する愛媛県の水の利用効率は芳しくないのが現状である(下図参照)。

こうしたことから、借入人が選定するKPI「西条工場の工業用水使用量」の削減は、エネルギーの利用効率を改善させることにもつながり、ひいてはCO2排出量の削減にも資する取組である。

県内総生産あたりの工業用水の使用量 × 県内総生産あたりのエネルギー消費量 (太平洋ベルト)



※6 各都道府県の工業用水使用量^{※8}を県内総生産^{※9}で除したものであり、表の左に行くほど利用効率が良いことを表す。

※7 各都道府県のエネルギー使用量^{※10}を県内総生産^{※9}で除したものであり、表の下に行くほど利用効率が良いことを表す。

※8 日本の水資源の現況(国土交通省、2015年推計値)

※9 県民経済計算(内閣府、2016年度)

※10 都道府県別エネルギー消費統計(資源エネルギー庁、2016年度)

2. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPT)の測定

本ローンのSPT設定については、以下の(1)から(3)の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

(1)SPTの測定

借入人と貸付人は、SPTの客観性、計画の妥当性、レポート等々を踏まえて貸出条件及びSPTを設定した。

(2)SPTの内容

「西条工場の工業用水使用量」について、借入人が2022年度から2026年度にかけて、同工場における工業用水使用量を現在(2022.3月期実績:108,007トン/年間)より20%削減することとし、下表のとおりSPTとして設定した。

【借入人のSPT】

	2021年度	2022	2023	2024	2025	2026
工業用水使用量 (単位:トン)	108,007	103,680	99,360	95,040	90,720	86,400
(削減率)	-	(96%)	(92%)	(88%)	(84%)	(80%)

借入人は、西条工場において最も工業用水の使用量の多いスポット溶接時の水冷装置について、循環型施設への切替を順次行うことなどにより、使用量削減に取り組むこととしている。削減に向けた手法が、明確かつ実現可能性の高いものと判断できる上、新たな設備投資をもって削減に取り組むことは十分に野心的であるといえる。

(3)SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

3. ローンの特性

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に対する取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1)が遵守されている場合、(2)が未達でも、スプレッドは変わらない。(1)が遵守され(2)が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

4. レポーティング

評価対象の「レポーティング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人はSPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

5. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. KPIの選定」、「2. SPTの測定」、「3. ローンの特性」、「4. レポーティング」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 取締役社長 前田 昭

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しており、貸付人およびひろぎんグループ企業との間、及びひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。